

全体あいのわーく

今年度も、福祉園全体あいのわーくは、各グループの利用者の方々が一緒に協力して活動を行っております。利用者の方が関わり合う機会も増えてきましたが、引き続きインフルエンザ等の感染症対策を行いながら、活動を行っております。

全体あいのわーくでは主に、近隣住民の方々から古紙や空き缶等を回収させて頂き、回収した空き缶を洗う作業や、“もじもじくん”に使用するパルプ玉を牛乳パックから作る作業を役割分担して行っております。パルプ玉作りの工程は、①牛乳パックの外側フィルムを剥がす→②剥がした紙を細かく千切る→③千切った紙をミキサーにかけるという流れを行います。利用者の方一人一人が一生懸命に取り組まれる姿はとても素敵です。作ったパルプ玉は福祉作業所をお願いをしてもじもじくんで使用する文字の作成をしております。作成したもじもじくんの文字は、先日の十三中学校で行われたあしの芽祭の体験コーナーに出品し、大変ご好評いただきました。

近隣住民の方々から回収した古紙は結束をし、空き缶は小さく潰してリサイクル業者に回収をお願いしております。これからも古紙回収やもじもじくんの体験を通じて地域交流の機会を増やしてまいります。(記：荻島)



あいのわ福祉会ではInstagramやXで施設の様子を投稿しています。ぜひご覧ください♪



お知らせ ~information~

★年末年始休業

12月30日(月)～1月3日(金)

★その他

12月20日(金) わくわくイベント

1月10日(金) 20歳を祝う会



※広報誌における写真や記事は、個人情報保護法に基づき、ご本人、およびご家族の同意の上で掲載しています。(広報担当：金井・齋藤・船山・宮路)

副主任から



つい先日まで暑い日が続いていましたが、急に気温も下がり秋を通り越して冬の近さを肌で感じる今日この頃です。

さて、神明障がい福祉施設では11月に足立区の実地検査がありました。実地検査とは、区の担当職員が事業所に出向き、事業運営の適正化と透明性の確保、利用者・保護者の視点に立ったサービスの提供や質の向上、人権擁護、虐待防止等の体制整備が滞りなく実施出来ているか検査し、指導を受けるものです。

今回の実地検査では、記録の取り方についてお話があり、具体的な内容としては強度行動障害を有する方への記録となります。障がいの有無に限らずより良い支援をしていくためには、“誰が”“いつ”“何を”“なぜ”“どの様に”“どのくらい”といった内容の記録を取って分析を重ねる必要があり、記録に残して分析する事で見えてくるものも変わってきます。

我々支援員は日々利用者支援に携わっていますが、ただ一日を過ごすのではサービスの質は中々向上しません。これらの様々な項目に沿って具体的にどの様な手順や手法で実施するのか、支援員一人一人が理解して取り組んで行く事が必要になります。支援については悩む事もありますが今一度振り返り、支援員の力を合わせて福祉園の目標である「安心・安全・楽しい福祉園」を利用者・保護者の方々が満足してもらえる様に取り組んでいきたいと思っております。(記：木村)



防災訓練



10月30日に避難訓練を実施しました。今回は地震に対する訓練を実施しており、雨の日を想定し全員でホールに避難しました。

地震の放送が入ると利用者の方々は机の下や物が倒れてこない場所に移動し、揺れが収まった放送を聞くとヘルメットの準備を行い、避難開始の合図でグループ毎に揃ってホールへ避難出来ました。

今年の元旦に能登を襲った震災を始め、近年地震の発生件数は年々増加しています。他にも火災や水害等も毎年多く発生しており、いつ災害が起きてもおかしくはありません。

引き続き福祉園では、いつ災害が起きても対応が出来るよう、利用者の方々とあらゆる場面を想定した避難訓練を実施していきます。(記：水谷)



1・2グループ合同活動

1、2グループ合同活動の中で紙芝居の読み語りを行っています。準備の段階から利用者の方にも関わって頂き、近隣の図書館へ面白そうな紙芝居を借りに行っています。

読み語りでは、語り手の声のトーンや抑揚の付け方、小太鼓を鳴らすタイミングなどを工夫し、内容も分かって頂けたらという気持ちを含めて取り組んでいます。その中で利用者の方の表情や反応が変化するのも読み語りの醍醐味に感じています。今までも音楽活動やレクリエーション等の合同活動を行ってきましたが、読み語りでは周囲との距離感や反応なども身近に感じる事で一体感が生まれ、楽しまれている様子が見られています。

最近では、ナレーター役以外の職員がそれぞれの登場人物の役を演じるスタイルが好評で『〇〇さん（職員）の演技が楽しかったね。』等の感想も頂きながら、利用者の方、職員共に楽しい活動として定着しつつあります。（記：佐々木）



トランポリン療法

トランポリン療法は、今年度も NPO 法人つばさの会様にお世話になり、講師の方が施設に来て指導を受けるグループと、つばさの会様に向かい直接指導を受けるグループでトランポリン療法に参加しています。

施設で実施する際は、ゆったりとしたストレッチや揺れを楽しむ療法を中心に、つばさの会では、ダイナミックに身体を動かし跳ねる楽しみを体感されています。普段の生活の中では味わえない動きや揺れは、参加されている多くの方々の笑顔から、ストレス解消や大きな楽しみになっているのではないかと思います。また、笑顔で身体を動かす事によって免疫機能を上げ、健康な日々の生活にも繋がると思います。

今後も、利用者の方々が楽しみながら健康に充実した生活を送って頂けるよう、トランポリン療法を継続していきたいと思っています。（記：熊田）



1・4グループ合同小外出

1グループと4グループの今年度の小外出は、10月から利用者の方を複数人に分けてグループ合同で昼食と買い物をしてアリオ亀有へ行っています。

アリオ亀有に到着後はフードコートで昼食を食べ、お好みのメニューの中からうどんやラーメン、ハンバーガー等のランチを選んでおりました。美味しそうな食べ物を前に笑顔が見られ職員も嬉しい気持ちになりました。また、食後の時間にゲームセンターへ行き、気になった UFO キャッチャーやガチャガチャをされたりと楽しいひと時も過ごされておりました。普段と異なる場所や、関わる機会が少ない他グループの利用者同士が交流する機会にもなり、一人一人に様々な表情が見られました。

引き続き、他利用者の方の小外出もありますので、皆様の普段見られない表情を引き出しながら、心に残る楽しい小外出の思い出となるよう外出活動を計画していきたいと思っています。（記：齋藤）



3グループ小外出

3グループでは10月、11月の2か月で4班に分かれて小外出を実施しています。車に乗ってアリオ亀有に行ってきました。

アリオのフードコートはたくさんの店舗があり、一周まわってから好きな食べ物を選ぶ方、始めからこれと決めていた方それぞれでしたが、フードコートで思い思いのご馳走を召し上がっていました。

その後はショッピングをしたり、こち亀パークを覗いたりお隣の香取神社へ参拝に行ったりしました。ひとしきりに歩きまわった後は、デザートを食べています。アイスクリームやドーナツ、期間限定のシュークリーム等々、大きな口を開けて頬張っていました。甘いものは別腹と言いますが、皆さん良い笑顔でした。短い時間でしたが、普段とは違った表情が見られ、職員もほっこりした気持ちになりました。（記：清水）

